

## ◆「モデル街区候補地」での今後の取組みについて

「モデル街区候補地」の住民の方々に、「城下町の風情を感じられる町並みづくり事業」について説明を行い、意見交換を行います。また、住民の方々に町並み協定への参加意向などを確認するアンケート調査を行い、「モデル街区候補地」での今後の町並みづくりの可能性について検討する予定です。日程・場所などの詳細は、未定です。

### 地域での取組み①

12月中頃

- モデル街区候補地の住民との意見交換会
- ・ 町並みガイドライン案について
  - ・ 地域での進め方、町並み協定について

### 地域での取組み②

12月末頃

- モデル街区候補地の住民との勉強会
- ・ 町並み協定について

### 地域での取組み（継続）

- モデル街区候補地の住民との勉強会
- ・ 町並み協定について

## ◆当日の参加者（順序不同、敬称略）

（新町）毛利秀士 橋本和彦 高田博子 仁田信二 宮本茂弘 宮本茂史 荒井正俊  
 （古町）伊藤博文 佐伯洋興 柴田浩志 楠本裕之 松田清見 平野俊晴 田中恭徳 川上靖  
 益雪シズエ 反後人美

景観アドバイザー 宇野史郎（熊本学園大学教授） 内丸恵一（崇城大学講師）  
 西島真理子（建築士）

高木富士川計画事務所：宮野桂輔 宮野岳明 橋本理佐 宮田恭子 池上正  
 熊本市：永山國博 福永卓巳 宮本肇 中嶋浩 林田純一 岡田左千枝

## ◆第三回協議会の感想（終了後のアンケートより）

### WSで検討したことに対して…

- ・ 通りと共にゾーン、エリアとして取り組む方がより実践的であると思った。

### これからの取組みに対して…

- ・ 長いスパンのまちづくりなので、人から人へきちんと継承されることを望む。
- ・ 動かなければ何も始まらないので、少しずつでも形になればと思う。できる範囲で協力は惜しまない。
- ・ 今後はいかに対象地や周りの人を入れての議論ができるかだと思う。
- ・ 地区の人たちに、推進されるような、ほめられる建物であると自信をいかに持って頂くか。ほめていくことが大切だと思う。
- ・ 今後、説明会等が行われると思うが、併せて城下町全体としてのPR、説明会等も必要だと思う。

### 行政に対して…

- ・ 目的をはっきりさせて、行政にしかできないこと、住民でできることをお互いに頑張る。
- ・ 緑保全・水保全など行政の一体化も大切。
- ・ 「担当課が違う」というだけで済ませないで、一緒に巻き込んでもらいたい。

## お問い合わせ先

熊本市 開発景観課 景観整備係 担当 中嶋・林田  
 電話 096-328-2507 ファックス 096-351-2182  
 メール kaihatsukeikan@city.kumamoto.lg.jp

## 第三回 城下町の風情を感じられる町並みづくり協議会が開催されました。

# 町並み便り 第3号

発行：熊本市開発景観課

平成23年10月

## ◆当日の様子

「第三回城下町の風情を感じられる町並みづくり協議会」が、10月7日（金曜日）午後7時から桜の馬場 城彩苑 会議室にて開催されました。

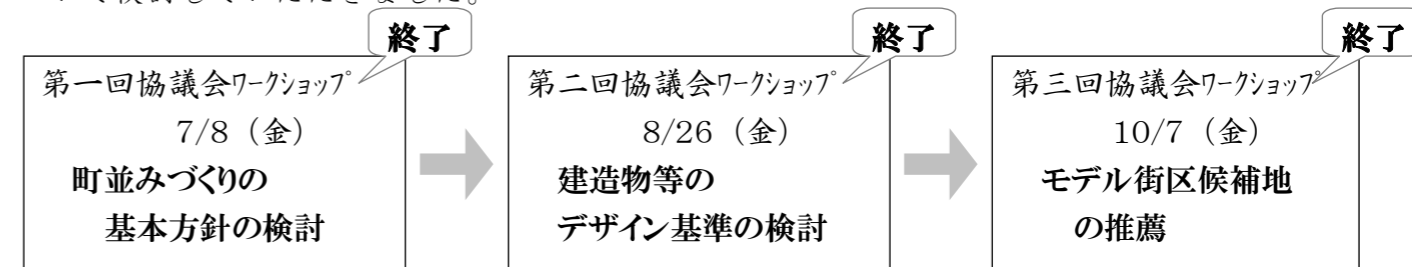
当日は、前回のワークショップを振り返りながら、住民の方々が自主的な町並み協定を結ぶことができるなどのモデル的な取組みを行えそうなどについて話し合っていた。また、新町・古町でそれぞれの候補地を推薦していただきました。また、今後どのようにすすめていくかについても話し合っていました。実現できそうな所で取り組むべきだという意見などを聞くことが出来ました。



## ◆城下町の風情を感じられる町並みづくり協議会とは…

熊本市では、熊本城の城下町の町割が残る新町・古町地区において、市と地域が合意のもとに協働で町並みルールづくりや町屋の保存活用を行うことで、城下町の風情を感じられる町並みづくりに取り組んでいきたいと考えています。

そこで、新町・古町地区の皆様と3回にわたり協議会（ワークショップ形式<sup>※2</sup>）を開催し、町並みづくりの基本方針や建造物等のデザイン基準などを定めた『町並みガイドライン<sup>※1</sup>案』について検討していただきました。



この協議会での作業結果を受けて熊本市が本年度取り組む内容は、次のとおりです。

- ❖ 町並みガイドラインの策定
- ❖ 城下町づくりモデル街区<sup>※3</sup>（以下、「モデル街区」という。）候補地の関係者と町並み協定<sup>※4</sup>案について意見交換会の実施と協定締結に向けた取組み
- ❖ 町屋認定制度及び保存・修景助成制度の検討
- ❖ モデル街区の修景助成制度の検討

※1 町並みガイドラインとは、建物等の外観デザインのルールや、「町並み協定」導入の取組みについて定め、みなさんの自主的な町並みづくりの活動に活用していただくものです。

※2 ワークショップ形式とは、地域の皆さんが自ら参加・体験して、参加者の共同作業で計画などを立てたり、進めていくことです。

※3 城下町づくりモデル街区とは、町並み協定が結ばれた街区になります。

※4 町並み協定とは、町内単位や各通り単位での建物等の外観デザインのルールなどを定めたものです。協定を結ばれた土地や建物の所有者は、協定内容の建物の外観デザイン等のルールに沿って、新築、改修等を行っていただくこととなります。

①「モデル街区候補地」の推薦について

モデル的な町並みづくりの取組みを行う「モデル街区候補地」の推薦案について、皆さんに意見を出していただき、候補地を推薦していただきました。

新町の「モデル街区候補地」の推薦地



【新町の推薦案への意見】

段山町ゾーン

- ・地元のまとまりがある。
- ・電車通りへのアピールができる。
- ・電車通りに面した所も加え、「ゾーン」として捉える。

中職人町通り,新鳥町通り,正妙寺町通りゾーン

《中職人町通りについて》

- ・町屋が多く残るが、住民の合意が課題だろう。
- ・藤崎宮のお祭の際の家のしつらえからも城下町としての意識が高いところである。
- ・町屋で商売が営まれている所なので取り組みやすいと思う。
- ・仕事の存続と後継者の有無が問題となっている。

《正妙寺町通りについて》

- ・住宅が多く、青桐があるので通りとして雰囲気ができあがっている。

《新鳥町通りについて》

- ・都市計画道路の計画があるが、将来的には取り組むことになるので、候補地に入れてはどうか。
- ・町並みづくり（外観）にはお金をかけられないというのが実情である。

その他

- ・観光か?商売か?目的をはっきりさせて取り組むことが必要。
- ・商店の活用がポイントになる。
- ・町屋の見学に協力いただける所が重要になるだろう。
- ・推薦地以外に疎外感を感じさせてはいけない。町屋への思いがあれば参加して頂きたい。
- ・外観は町屋で、内部は現代的になっている等の“サプライズ”が必要。
- ・5軒の料亭をポイントにすることも考えられる。
- ・“ものがたり”と町屋をセットで考えることが大事。



②モデル街区候補地での今後の取組みについて

「モデル街区候補地」での次のような今後の取組み予定について、皆さんに意見を出していただきました。

- ❖ 候補地の住民の方々と説明・意見交換会を実施する。
- ❖ その際に、町並み協定への参加意向についてアンケートを取り、協定の可能性を探る。
- ❖ アンケートの結果より、協定への参加意向のある方で、まずは町並み協定について勉強会を行い、それから協定内容の検討や協定締結へ向けた取組みへと進めていく。
- ❖ 町並み協定の締結の目標を平成24年3月頃としている。

【新町での意見】

- ・話の持って行き方、やり方(手法)等を工夫して進めていくことが大事である。
- ・ワークショップの参加者や、現・旧の自治会長等、まずは「地元の人」から話をさせていただいたほうが良いだろう。
- ・アンケートやヒヤリング等で候補地の住民の皆さんの考え方をすることも必要である。

【古町での意見】

- ・地域でまとまって実践していくには強力なリーダーシップが求められる。
- ・五福校区では町内会長を通じて、慶徳校区では1, 3, 4, 5, 7町内で取り組みを始めてみてはどうか。
- ・一町一寺は古町の特徴なので、そこに光を当てたい。
- ・清正公時代からの町名は変えたくない。

【古町の推薦案への意見】

小沢町通り

- ・古町でも古いものがたくさん残っている通りである。
- ・高齢者が多く、商売ではなく住んでいる人が多いので、改修意欲がおこるか心配だ。
- ・熊本駅から小沢町、小沢町から新町への流れをつくる上で重要だ。

唐人町通り

- ・商店が多いため、お客さん呼び込む方法として意欲的に取り組みが広がることに期待できそう。
- ・木造と鉄筋コンクリートが混在しているため、効果が薄いことも考えられる。どのように共有し、実践していくかが課題である。
- ・建物だけでなく、コインパーキングの看板や自動販売機なども対象とするべきではないか。

万町通り

- ・早川倉庫が大きいので、ここが修景されれば印象が大きく変わるかもしれない。
- ・住民が10軒程度で、話がまとまりやすい。

(次の候補地として) 細工町通り

- ・一町一寺がよく表れている通りであり、城下の歴史をよく表現しており、将来的には取り組みたい。
- ・エリアが広く人も多いため、まずは他地域で実績をつくらないと、盛り上がり行かないのではないかと。

古町の「モデル街区候補地」の推薦地



次回は?

次回は、「モデル街区候補地」の住民の方々の意見交換会を行い、町並み協定の可能性を検討します。